

『精神看護』が
公開収録セミナーをします！

個人でも！
院内研修としても！



ぜひ視聴を！

困り事だらけの 認知症ケアに、 「カンフォーダブルケア」を 取り入れてみませんか？



2022. 8 月 6 日 [土]

13:00-16:00

講演2時間半
+質疑応答30分

対象
病院や老人介護施設に勤める看護師、
介護職、作業療法士、精神保健福祉士、
など

「快刺激」を使った10の技術を伝授。
やさしさを伝えるには技術が必要だった！

高齢化により、介助が必要な方が増加しています。ケアする側に認知症の人に対する理解が低いと、大きく抵抗されたり、協力が得られない中で介助をすることになり、大変消耗し、ケアのやりがいを感じることができなくなってしまう。心理的にも、「もうこんな繰り返しは嫌だ」と、仕事を投げ出したいような思いが高まってしまうでしょう。

そこで今回、カンフォーダブル・ケアの創設者である南敦司さんに、「快刺激」を基本とする認知症ケアを解説いただくことになりました。

カンフォーダブル・ケアとは、精神科病院という制約された環境で、試行錯誤の中、手づくりで開発されてきた手法であり、現場の英知そのものです。

講演ではまず、認知症の人へ医療をする時に必須となる「大脳生理」にもとづき、なぜ「不

快な刺激」が認知症の人に周辺症状を呼び起こし、「快を与える刺激」で落ち着くのか、という原理を押さえます。その上で、カンフォーダブル・ケアの技術を10個に分け、1つずつ丁寧にわかりやすく解説します。手や目や身体の動き、そして声といったものが重要になりますので、時に実際のデモンストレーションを交えながら進みます。

最後に、チーム全体でこのケアに取り組むにはどうすればよいか、という管理面での方法を、講師自身の経験から解説します。ぜひ、チームの皆さんで視聴してみたいかどうかでしょうか。

この Zoom 講演では、「認知症ケアが思うようにいかない」「もう嫌だ」……疲弊した現場と認知症の方、両方が元気になる手がかりが得られます。「これなら自分の親も、将来の自分も、ここでケアされたい」と思えるような、プライドが持てる生き活きとした職場に変えていきましょう！



講師

南 敦司さん (埼玉森林病院・教育専任師長)

1997年、看護師免許取得。一般社団法人仁明会病院(兵庫県西宮市)で精神科看護を研鑽する。
2008年より同病院の認知症棟棟長として、認知症看護の専門性と質の向上に取り組む。
2014年、医療法人北仁会旭山病院(北海道札幌市)の認知症棟棟長に。2022年4月から現職。

お待ち
しています!!

若い時からおっちょこちょいで空気が読めないタイプなのは変わりません。関西の故郷を離れ、北の大地で6年を過ごし、今年から一念発起して関東に。2月に到着した直後は「暖かい」と感じた気候も、3か月が経つとすでに「寒い」と感じ、自分の適応力に驚いています。
カンフォータブル・ケアは認知症現場のものです。
みんなで始めましょう、レッツ カンフォータブル・ケア!

講演内容

1. これまでの認知症医療の反省

2. カンフォータブル・ケアってどういうもの?

——大脳生理から見た周辺症状、快刺激への反応とは

3. カンフォータブル・ケア10の技術を徹底解説

——それぞれの「意味」と「コツ」

- | | |
|-----------|----------------|
| ① いつも笑顔 | ⑥ 謝る態度を見せる |
| ② いつも敬語 | ⑦ 不快な状態を長引かせない |
| ③ 目線を合わせる | ⑧ 演じる要素を持つ |
| ④ 優しく触れる | ⑨ 気持ちに余裕を持つ |
| ⑤ 褒める | ⑩ 相手に関心を向ける |

4. 看護師に得られる効果

5. チーム全体で行うために

6. こんなケアはやめよう「ミスケア」

皆さんからの
質問、疑問、困り事に
南さんが答える
時間を設けます。
ぜひ申し込み時に
「フォーム」にご記載
ください。



お申し込みは
ココから!

申し込んで
ね!!



参加費 1500円(申込方法: Peatix) ※講演後、参加証を発行します。

定員 定員となり次第締切/見逃し配信あり(1か月間)

主催 医学書院『精神看護』

URL <https://mh.igaku-shoin.co.jp/250401>

